

美しい山・川・海 人が躍動する 交流と共生のまち

 広報  
ふるさと

# 香 美

1  
月号 No. 82  
平成 24 年 (2012)



【写真】

## － みんなで「もち花づくり」－

雪国ホームステイ

国際交流を深めようと毎年行われている「雪国ホームステイ」。昨年 12 月 18 日、小代区を訪問していたオーストラリアからの留学生 7 人は、地域の子どもたちと一緒に紅白のもちを枝にくっつける「もち花づくり」を体験しました。

今年も豊作になりますように…。

(本号 10 ページに関連記事を掲載)

## 今月の主な内容 (Contents)

- 2 まちのうごき  
年頭のごあいさつ
- 4 まちからのおしらせ  
人権啓発作品表彰式、人権講演会開催  
4 月から役場の組織が変わります  
役場各課などからのお知らせ ほか
- 10 まちのできごと
- 12 ふるさとの誇りを訪ねて  
(別冊 けいじばん、いきいきカレンダー)

# 創造と活力あるまちづくりを目指して



香美町長 長瀬 幸夫

により、1万5千人を超える方々が犠牲となり、そして、いまだに3500人余りが行方不明となっております。あらためて犠牲になられた方々とそのご遺族に深い哀悼の意を捧げますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

この大震災に際し、多くの町民の皆様にご協力いただき、義援金や救援物資を被災地に届けさせていただきました。あらためてお礼を申し上げるとともに、本町としても、被災地に笑顔が戻るよう、今後もできるかぎりの支援を行っていきたく考えています。

町内に目を向けると、年明けの村岡、小代区を中心に見舞われた大雪に始まり、8月末の集中豪雨、そして台風12、15号などで大きな被害を受けました。現在、その復旧に全力を注いでおりますが、いつ発生するかかわらない災害に備え、今後も防災対策に積極的に取り組めます。

大震災発生後の連日の報道では、被災地の様子とともに全国各地から集まった多くのボランティアの懸命な姿、被災された方々が社会的秩序を守ってお互いに助け合う様子が映し出され、日本人の思いやりの深さ、そして一人ひとりの力の結集がどれだけ素晴らしい

ものかを痛感いたしました。まちづくりも、そこに住む方々の力を結集してこそそのものです。素晴らしいふるさとを子どもたちに引き継いでいくためにも、今後も町民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

さて、平成22年に行われた国勢調査で、人口の減少や高齢化率がさらに高くなっているとの結果が示されました。全国的にも少子高齢化社会への対応が喫緊の課題となっているなか、子どもの減少や核家族化などによる家庭、地域の変化など、子どもたちを取り巻く環境も大きく変わりつつあります。そこで、町の宝である子どもたちが、安心して遊び、学び、そしてふるさとを愛することができるよう、町内初となる認定こども園を小代に開園したほか、香住小学校の改築にも着手しました。新校舎が子どもたちや地域の皆さんに愛される素晴らしい学び舎になることを願ってやみません。

また、高齢者や障害を持った方々が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、地域社会全体で見守る「香美町高齢者等見守りネットワーク」（にこにこ香美ネット）を11月からスタートさせました。これは、日常生活

新年あけましておめでとございます。町民の皆様におかれましては、ご家族おそろいで希望あふれる輝かしい初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、旧年中は町政推進にあたり、多大なるご尽力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、大自然の驚異を痛感した1年でありました。3月11日発生の東日本大震災は、東北地方などに甚大な被害をもたらすとともに、東京電力福島第1原子力発電所の事故は、かつてない原子力災害を引き起こしました。この大地震と巨大津波



## 年頭あいさつ

活や仕事の中でさりげなく地域の高齢者などを見守っていただき、異変に気付いたときは役場に連絡をいただくもので、各種団体や事業所などの協力を得て実施しています。

観光面では、走る広告塔「観光PRラッピングバス」の運行開始や、地元の伝統食や地元の食材を使い手軽に食べることができ料理を発掘する「ご当地グルメコンテスト」、山陰海岸ジオパークの普及や啓発をしていた「ジオパークマスター」の認定など新しい動きもありました。

一方、町の財政状況ですが、地方公共団体の財政健全化の指標の一つ「実質公債費比率（自治体の財政規模に対する借入金返済額などの割合）」は、平成22年度決算で前年度をさらに下回ったほか、借入金のうち利率の高いものを繰り上げて償還するなどにより財政健全化を着実に進めています。今後も行財政改革大綱に基づき、引き続き行財政改革に取り組みます。

まちづくりの長期的方針を定めた「香美町総合計画」のうち、平成24年度からの5年間の施策方針を定める基本計画の検討を現在進めています。財政健全化への取り組みを継続しつつ、町民の皆様にも感じてもらいたい、創造と活力あるまちづくりを進めるため、次の点を重要な課題として取り組んでいきたいと考えています。

第一は「産業の連携による産業振興」です。本町には、世界ジオパークネットワークに加盟している山陰海岸ジオパークがあるとともに、松葉ガニや但馬牛のほか、米・食味分析鑑定コンクールで何度も金賞を受賞した村岡米など、超A級の特産物があります。これらの地域資源を最大限に生かすため、各産業団体間のネットワークをさらに強化し、農林水産業と製造業の連携を図るとともに観光産業との連携により6次産業化を進めます。

第二は「子育て支援施策の充実」です。乳幼児からの子育て・保育施策を一元的に行い、子どもの発達段階に対応した教育プログラムを整備し、子どもの育成について一貫した教育体制を整備します。また、子育て世代のニーズに対応するため、ファミリーサポートセンターの調査研究を行うとともに子育てに係る経済的負担の軽減を検討します。

第三は「安全・安心なまちづくりの推進」です。

昨年発生した東日本大震災を教訓に、地域防災計画の見直しを進め、安全・安心に生活できるまちづくりを進めます。このうち3区で異なる行政放送システムの早急な統一化を図るため、早い段階で設計と一部事業に着手したいと考えています。また、高齢者等見守りネットワークをさらに充実させ、災害時にも機能するシステムになるよう検討を進めます。

今年（辰（竜）年）です。力の強いものが、さらに力を得て強くなることのとえに「竜に翼を得たる如し」というものがあります。言うまでもなく、本町の主役は、町民の皆様一人ひとりです。美しい自然と豊かな恵み、先人から受け継いだ歴史や文化、そこに住む方々の優しさ感謝の心。皆様がいかに「翼」を得て大きく飛躍されるときにも、皆様の力を結集し、本町がさらに発展できるように、なお一層の努力を重ねる所存ですので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

終わりにりましたが、本年が皆様にとりまして幸多い年となりますよう、心からご祈念を申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

# 人権啓発作品表彰式・人権講演会を開催

●問い合わせ先 役場町民課

昭和23年(1948年)12月の「世界人権宣言」を記念して、毎年12月10日は「世界人権デー」とされています。

この日までの1週間を人権週間として全国各地でさまざまな催しが行われていますが、本町でも人権尊重の啓発活動を推進するため、昨年12月4日、香住区中央公民館で人権啓発作品表彰式と人権講演会を行い、人権問題について認識を深めようと多くの皆さんが参加しました。

## 【人権啓発作品表彰式】

昨年募集した人権啓発作品の各部門入選作品の代表者に表彰状を贈りました。併せて、第31回全国中学生人権作文コンテスト兵庫県大会但馬地区予選入賞者に表彰状の伝達を行いました。これらの作品は「人権啓発作品集」にまとめ、今年3月に全世帯や関係機関などにお届けする予定です。

## ◇人権啓発作品入選者(順不同・敬称略)

【ポスターの部】  
 義本 南々帆(奥佐津小6年)、藤川 菜風(佐津小2年)、藤原 さくら(柴山小4年)、山田 歩夢(香住小3年)、守本 日南(長井小5年)、山崎 慎太郎(余部小3年)、西垣 和真(村岡小6年)、福井 若菜(兎塚小3年)、谷淵 蒼大(射添小1年)、水間 美花(小代小4年)、本多 翔(香住一中3年)、稲垣 百那(香住二中3年)、西村 琴美(村岡中3年)、小林 遥南(小代中2年)

## 【標語の部】

安井 悠斗(奥佐津小6年)、吉田 史彦(佐津小6年)、今西 寛大(柴山小1年)、青山 紗綾子(香住小2年)、橋下 ななせ(長井小5年)、北村 勇斗(余部小4年)、森垣 颯太(村岡小5年)、西谷 皓成(兎塚小5年)、田中 桜和子(射添小4年)、宮脇 二子香(小代小5年)、山脇 このみ(香住一中3年)、西村 華澄(香住二中3年)、西崎 千奈(村岡中1年)、井上 敦(小代

中2年)、今西 勝彦(柴山小PTA)、岸 正紀(村岡小PTA)、上田 優賀子(兎塚小PTA)、田中文世(兎塚小PTA)、今井 鈴代(小代中PTA)

## 【作文の部】

小林 大輝(柴山小5年)、守山 修平(香住小6年)、北脇 嵩祥(長井小6年)、岡本 真治(射添小2年)、中村 楓(小代小6年)、藤原 峻也(香住一中3年)、秋山 早紀(香住二中3年)、田輪 香子(村岡中2年)、田野 杏奈(小代中1年)、八木 里佳(香住二中PTA)

## ◇第31回全国中学生人権作文コンテスト兵庫県大会但馬地区予選入賞者(敬称略)

優秀賞▼徳山 雅也(村岡中3年)、金賞▼藤村 直之(村岡中1年)、銀賞▼古川 百華(村岡中1年)、銅賞▼五寶 早紀(香住一中3年)、稲垣 百那(香住一中3年)、上田 結(小代中2年)

## 【人権講演会】

### ぬくもりを感じて

中倉 茂樹氏



中倉さんは、昭和52年3月生まれ、34歳。現在は、徳島県人権啓発青少年団体連絡協議会「止揚の会」事務局として、全国で人

権に関する講演を年間150回以上こなす多忙な日々を送り、部落差別や結婚差別などに立ち向かっておられます。

小学生のとき自身が遭っていたいじめ、同じようにいじめに遭っていた中学の友人の父の死などを乗り越え、高校時代には生徒会長を務めた中倉さん。ある日の人権集会で「私は部落出身です」と打ち明けた。そのことを知った友人の態度がどう変わるのか、とても不安に感じたそうですが、その後、仲間に取り囲まれて勇気づけられたことで、人権学習とは「人と人がつながっていく学習ではないか」と感じたそうです。

人の温かさを説きながら、精神的に人権問題に取り組んでいた中倉さんですが、自身の結婚差別に直面します。部落出身といういわれのない差別によって、相手の両親と顔を合わせることもできなかつたとのこと。「相手が変わるのを待つのではなく、まず自分が変わるう」と思っていた中倉さんは、婚姻届を提出。やがて、子どもが誕生し、妻の両親に孫の顔を見せたときに初めてわだかまりが解け「すべての親の幸せは、子どもが幸せになることであり、幸せをつかもうとするときに親に気を使うことはない」と考えるようになりまし。

結婚差別の実体験を記録した人権啓発ビデオに夫妻で出演するなど「自分の苦しみをはかの人に経験させたくない」と強い信念を持つ中倉さん。同和問題の学習は「すべての人間が幸せになるための勉強」と会場に訴えました。

# みんな

で築こう「人権の世紀」  
 ～考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心～



▲長瀬町長から表彰状を授与される受賞者



行政課題に的確に対応できる組織を目指し

## 4月から役場の組織が変わります

●問い合わせ先 役場総務課



今後の職員数の減少に対応しながら、行政課題に迅速かつ集中的に取り組むことができる体制を整えるとともに、住民サービスのさらなる向上を目指し、今年4月から役場の組織を改編します。

これは昨年12月の町議会定例会で可決された「香美町組織条例」の改正に伴うもので、今後、必要な手続きなどを行い、平成24年度（平成24年4月）から新しい体制で業務を行います。

なお、今回の組織改編により町民の皆さんにご迷惑をお掛けすることがないように、職員が一丸となって業務に努めますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

### 組織改編の7つのポイント

- ①意思決定の迅速化を図り、行政課題に的確に対応できる体制とするため、部制を廃止する。
- ②地域局を一つの課とし、住民サービスの向上を目指す。
- ③住民が安全・安心に暮らせる地域とするため、防災安全室を設置し、防災体制を強化する。
- ④水環境の向上を図るため、汚水の処理を行う体制を整理する。
- ⑤乳幼児から小・中学校まで、一貫した子どもの育成体制を整備する。
- ⑥教育環境、ふるさと教育などの推進を図るため、教育委員会事務局体制を整備する。
- ⑦生涯学習の推進と地域に密着した公民館活動を図るため、教育委員会の各分室を統合する。

### 組織改編の概要（担当課の変更など）

	平成24年3月末まで	平成24年4月から
①	総務部 (総務課、財政課、企画課、税務課)	総務課、財政課、企画課、税務課
	健康福祉部 (町民課、健康課、福祉課)	町民課、健康課、福祉課
	産業部 (農林水産課、観光商工課)	農林水産課、観光商工課
	建設部 (建設課、上下水道課)	建設課、上下水道課
②	村岡地域局、小代地域局 (地域振興課、健康福祉課、農林建設課)	村岡地域局、小代地域局
③	町民課 (消防防災に関する業務)	【新設】防災安全室（総務課内）
④	町民課 (し尿処理に関する業務)	上下水道課
⑤	福祉課 (子育て支援に関する業務)	【新設】こども教育課
⑥	—	【新設】教育企画研修室（教育総務課内）
	学校教育課 (給食センターに関する業務)	教育総務課
	学校教育課 (上記以外)	【新設】こども教育課
⑦	社会教育課、香住分室、小代分室	【新設】生涯学習課

※詳細については今後の広報紙などでお知らせします。

もっくろ「遊ぼう」

もっくろ「遊ぼう」

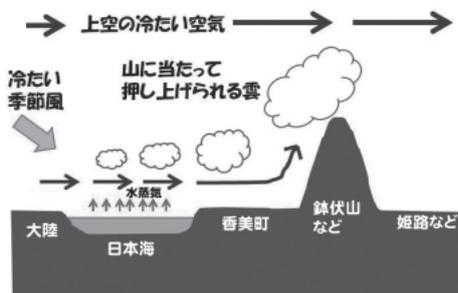
地域の宝・みんなの宝

# 山陰海岸ジオパーク

## 日本海と「但馬の雪」

皆さんが冬季の天気予報でよく耳にする「西高東低」とは、日本列島の東側に低気圧があり、大陸からシベリア高気圧（寒気団）が張り出して等高線が南北に帯のように現れる気圧配置を指します。この気圧配置になると、厳しい冷え込みとともに日本海側を中心に大雪が降ることがあります。香美町も豪雪地帯の一つで、大雪が降ると生活する上でさまざまな困難を伴います。皆さんも毎年、大変な思いをされているのではないのでしょうか。

さて、雪の降る仕組みを少しおさらいしてみよう。先ほどの「西高東低」の気圧配置になったからといって、雪が降るとは限りません。世界各地でも同様の気圧配置は見られます。では、どうして日本海側では雪が降るのでしょうか。



▲雪の降る仕組み（概要）



▲香美町版ジオパークキャラクター「ジオンくん」

そこには「日本海」の存在が大きく影響しています。日本海には、対馬海峡を通じて日本列島沿いに北上する対馬海流（暖流）が流れています。西高東低の気圧配置になると、シベリア高気圧（寒気団）から日本海側に寒気が

吹き出し、上空5000m付近でマイナス40℃近くになります。そして、海面上の気温もかなり低下します。暖かい海水と冷たい空気、この二つが接すると大量の水蒸気が発生します。天気予報の衛星画像で日本列島に向けて「すじ状の雲」が並ぶことがあります。これは、大量の水蒸気で作られた雲が北西の季節風に乗って日本列島に吹き付けていることを示しています。

こうして次々に日本列島に押し寄せた雲が、脊梁山脈（長く連なり、主要な分水嶺となる山の連なり）に当たって上昇し、山岳地帯に雪を降らします。山陰地方の場合、中国山脈が脊梁山脈になります。特に香美町の場合は氷ノ山や鉢伏山などの高い山々がその役目を果たします。

山陰海岸ジオパークは、約2500万年前の日本海形成が生み出したものです。そして、日本海は但馬地方に雪をもたらします。多くの人から嫌われる雪ですが、その一方で多くの恵みを与えてくれます。雪解けの水が矢田川の流れを育み、私たちにおいしい飲み水をもたらすとともに、その流れは豊富なミネラル分を海に注ぎ、豊かな海産物をもたらします。また、スキーやスノーボードなどウィンタースポーツを楽しむことができ、それを目的に多くの観光客も訪れます。

多くの困難と、多くの恵みを与えられる雪も、ジオの産物の一つです。

## 白銀の世界をスノーシューで！

スノーシュー（西洋かんじき）を履いて雪の上を歩く「スノーシューハイキング」。最近では全国各地で講習会などが行われ、愛好家も増えていきます。雪をまとった山々の雄大さ、雪面に残された野生動物の足跡など白銀の世界を楽しむことができます。

スノーシューハイキングは、初心者でも楽しむことができます。



この冬、スノーシューを履いて新しい発見をしてみませんか。プチアドベンチャー感覚で楽しめるスノーシューハイキングは、兎和野高原野外教育センター（Tel 0796・94・0211）、美方高原自然の家（Tel 0796・97・3600）、おじろスキー場（Tel 0796・97・2717）で体験できます。（要予約）

### ●問い合わせ先

- ・ 役場観光工課
  - ・ 香美町海の文化館
- Tel 0796・36・4671



# いきいき通信

## 冬場の運動不足を解消

こたつと「友だち」になつてませんか？

冬場は外出が少な  
 くなり、運動不足に  
 なりがちです。「転  
 んだら大変」と家  
 でじっとしている人  
 も多いのではないで  
 しょうか。



身体を動かさないと、筋力が  
 落ちたり、血液の循環が悪くなったり、  
 バランス感覚が鈍ったりします。適度  
 に体を動かし、健康を維持しましょう。

### ◇運動するときのポイント

冬場、特に注意が必要なのが『温度  
 差』です。温度差が大きいと、血圧が  
 急激に変化し、心臓や脳血管の障害を  
 引き起こす可能性が高くなります。

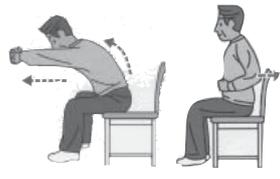
また、筋肉も硬くなり痛めやすくな  
 るので、早朝や起床直後は避け、暖か  
 い服装で運動しましょう。特に気温が  
 低い日は、暖かい室内で。そして、水  
 分を取ることも忘れずに。

ここで効果的な運動をご紹介します。



### ①背中を伸ばす運動

こたつに入っていると丸くなってしまいう背中。肩こり予防や体幹の筋力アップに効果的です。



①ひじを引く  
 ②腕を前に伸ばして上体を倒す

### ②足の筋力をつける運動

外出の機会が減ると足腰の筋力が低下する恐れがあります。足の筋力アップに効果的です。



①片足ずつひざを伸ばす  
 ②伸ばしたまま、つま先をそらして10秒数えて下ろす(左右5回程度)

### ③足踏み運動

全身の運動になるので、心肺機能のアップにも効果的です。



いすに座り、手をしっかりと振って、足踏みを行う(20回程度)

### ●問い合わせ先

いきいき相談センター(役場福祉課内)  
 TEL 0796・36・4004(直通)



# 消費生活相談

賢い消費者になりましょう！

## ～暖房器具による事故をなくそう～

冬場は暖房器具による事故が急増します。その多くが誤使用や不注意によるもので、石油ストーブに限れば、平成18年度から平成22年度までに事故全体のうち63%を占めます。使用前には点検を行い、給油するときは十分注意しましょう。

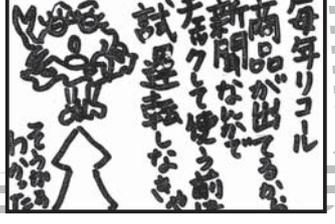


また、お使いの暖房器具はリコール(製品に欠陥が判明した場合、メーカーなどが無償で交換、修理など行うこと)対象ではありませんか。リコール対象製品とは気付かずに使用して、火災が発生したり、死亡事故が起きたりする場合があります。使用中の製品が該当する場合は、すぐにメーカーや販売業者に申し出ましょう。

＜消費生活相談窓口＞  
 ●役場消費生活相談窓口  
 (役場町民課内)  
 TEL 0796・36・1941(直通)  
 ●たじま消費者ホットライン  
 TEL 0796・23・1999  
 ※相談無料で秘密は厳守!!

なお、リコール該当製品かどうかは、経済産業省の『製品安全ガイド』ホームページ([http://www.meti.go.jp/product\\_safety/](http://www.meti.go.jp/product_safety/))か、各メーカーのホームページでご確認ください。

こんなとき、どうする？



文芸かみ

小代俳句教室

選者 尾崎龍

※このコーナーでは、香美町文化協会所属の各団体の俳句・短歌を毎月掲載します。

自分史の記憶の旅や夜の長し

吉田 まち子

ふゆもみじひらがなばかりの母といて

井上 捷子

長寿眉降らんがええのう雪圍

田中 富美代

持余すほどの豊作如何にせん

中庭 正江

つるし柿手元あやうし大きくさめ

井上 美千代

冬帽の爺にもらったか童子仏

選者

おめでとうございます

町内から表彰受賞者がありました

(順不同・敬称略)

第31回豊かな海づくり大会作文コンクール

農林水産大臣賞

濱名 洋幸 (柴山小2年、香住区上計)

水産庁長官賞

今西 梨沙南 (同小2年、香住区上計)

山本 葉月 (同小4年、香住区上計)

第14回ジャンボひまわりコンテスト

優勝 後垣 晶一 (香住区大谷)

第57回青少年読書感想文兵庫県コンクール

兵庫県教育委員会賞

中村 睦 (射添小6年、村岡区川会)

兵庫県水産賞

沖合底引き網漁業の発展と漁協経営の安定化

竹中 和久 (香住区若松)

第22回兵庫県花き品評会 秋の部

銀賞 田中 義高 (村岡区口大谷)



第13回米・食味分析鑑定コンクール国際大会

村岡米が2年連続で金賞受賞!

米の食味を競う「第13回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」(米・食味鑑定士協会主催)が昨年11月22、23日に群馬県川場村で行われ、JAたじま村岡米生産組合(西田英喜組合長、21人)の前田利夫さん(村岡区板仕野)が総合部門で金賞、森井省吾さん(同区萩山)が都道府県選抜代表お米選手権部門で特別優秀賞、中野隆一さん(同区村岡)が水田環境特A部門で特別優秀賞を獲得しました。また、秋岡おい米作隊の吉田修久さん(小代区秋岡)も総合部門で特別優秀賞を受けました。

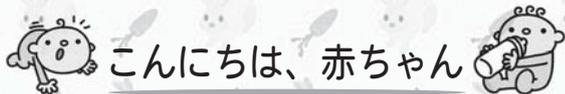
このコンクールは、米のおいしさの指標となる水分やたんぱく質などの成分検査や、香り、粘り、食感、味などの審査を通して、出品された米をあらゆる角度から評価し、食味の優劣を競うもので、今回は国内外から2952点が出品されました。村岡米の金賞受賞は2年連続で、平成21年の第11回大会で惜しくも金賞を逃したものの、今回が平成18、19、20、22年に続き5度目となります。

昨年12月2日には受賞者の皆さんが長瀬町長を訪問し、受賞の報告を行いました。前田さんは「初出品だったので受賞できるとは思っていませんでした。今後おいしい米を提供できるように米作りに励みたい」と受賞の喜びを語ってくれました。

5度目の受賞で、生産者のレベルの高さと豊かな自然に育まれたそのおいしさをあらためて証明した村岡米。これからも全国有数のおいしい米として多くの人に愛されるのが期待されます。



◀ 第13回米・食味分析鑑定コンクールで受賞した皆さん(前田さん(左手前)、森井さん(右手前)、中野さん(左奥)、吉田さん(右奥))



この記事につきましては、関係者の皆さんにホームページ上での公開承諾を得ておりませんので、個人情報保護によりホームページ上での掲載を控えさせていただきます。

※このコーナーは、先月（11/21～12/16）の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。（届出順・敬称略）

## お悔やみ申し上げます

この記事につきましては、関係者の皆さんにホームページ上での公開承諾を得ておりませんので、個人情報保護によりホームページ上での掲載を控えさせていただきます。

※このコーナーは、先月（11/21～12/16）の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。（届出順・敬称略）

## 求人情報

詳細はハローワークにおたずねください

（平成 23 年 12 月 20 日現在、順不同）

●問い合わせ先 ハローワーク香住

TEL 0796・36・0137

＜フルタイム＞				
職種	事業所名	勤務地など	年齢	人数
ガソリンスタンド	ハバタック(株)	村岡区村岡	30以下	1
高齢者等訪問調査員		村岡地域局	不問	1
高齢者等訪問調査員	香美町役場		不問	1
看護師・保健師		本庁舎	不問	1
電気工事	(有)インフィニティー	美方郡内	不問	3
タクシー乗務員	日本交通(株)	香住区	不問	2
現場作業	(有)ワタナベマリンサービス	香住区香住	不問	1
販売	(株)コメリ中四国地区本部	香住区香住	27以下	1
薬剤師	日本調剤(株)大阪支店	香住区若松	59以下	1
調理見習	御殿	村岡区鹿田	不問	1
看護師	社会福祉法人 みかたこぶしの里	小代区神水	不問	3
スキー場係員	おじろ観光協同組合	小代区大谷	不問	3
ケアマネージャー	(株)カマダグループ	香住区香住	不問	2
看護	社会福祉法人 香美町社会福祉協議会	香住区無南垣	不問	1
調理師見習			不問	1
接客	(有)三七十	香住区香住	不問	2
調理師見習		味焼肉屋	不問	2
配管工見習			59以下	1
電気技術者	(有)西本設備	香住区森	59以下	2
土木技術者			59以下	2
電気工事士	(有)北近畿環境開発	香住区間室	不問	1
看護	村瀬医院	村岡区村岡	不問	1
運転手	(有)K-S IN TRANSPORT	香住区若松	不問	1

＜パートタイム＞				
職種	事業所名	勤務地など	年齢	人数
清掃	(有)北近畿環境開発	公立香住病院	不問	1
販売	ローソン養父万久里店	ローソン村岡店	不問	3
旅館業務	(株)ヤマニ水産	香住区香住	不問	1
調理補助	(株)メフォス	公立香住病院	59以下	2
電気工事	(有)インフィニティー	美方郡内	不問	3
販売		村岡区大糠	不問	4
販売	(株)コメリ中四国地区本部	香住区香住	不問	3
品出し			不問	1
レジ	(株)トヨタ	ルックパザールトヨタ 香住店	不問	5
商品加工			不問	7
販売	(株)ウエケイ	香住区七日市	不問	1
販売		香住区香住	不問	1
水産加工	(有)鎌清商店	香住区七日市	65以下	3
臨時介護	社会福祉法人 みかたこぶしの里	村岡区村岡	不問	3
臨時看護		小代区神水	不問	1
繊維製品製造	(株)ライフアート	香住区森	不問	2
水産加工	マルカツ水産(株)	香住区	不問	2
旅館業務	香住観光旅館 丸世井	香住区香住	不問	3
食品製造	マルヨ食品(株)	香住区香住	不問	5
接客	(有)三七十	香住区香住	不問	1
接客	エスポワール	八チ北高原	不問	3
歯科助手	やまだ歯科医院	香住区七日市	不問	1
販売			不問	1
接客	(株)宿院商店	村岡区入江	不問	1
資材管理	デサントアパレル(株)村岡工場	村岡区高井	不問	1
洗い場	(株)香住観光公社	香住区境	不問	2
旅程管理			不問	20
観光ガイド	旅のふあくとりー	村岡区大笹	不問	20
接客	ロッテ 野間	村岡区大笹	不問	2

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年3月に発生した東日本大震災を機に、全国で防災や減災についての意識が高まりました。皆さんのご家庭でも話合いが行われたのではないのでしょうか。▼あれから約10カ月。気持ちを新たに新年を迎えられていることと思いますが、防災意識が竜頭蛇尾にならないように、万一の備えを日ごろから見直しておきましょう。▼それでは、今年もよろしくお願いたします。（みうら）

写真でつづる  
まちのできごと

# Photo News



僕は「ジオンくん」。よろしくね！

香美町版ジオパークキャラクターが決定

町内のジオサイトなどのPRを図るために、昨年募集していた香美町版ジオパークキャラクター。そのデザインが決定しました。昨年9月から10月までに全国から86人、132点の応募があり、香美町ジオパーク推進協議会が10月31日に審査。その中から群馬県前橋市のデザイナー、宮川ヒロミさんの作品が最優秀賞を受賞し、採用されました。

名前は「ジオンくん」。ジオンくんは、国天然記念物の「鎧の袖」と足跡化石の代表「サイ」の角をあしらった姿で、頭は「山、豊かな森、棚田」、上半身は「川、海」、足は「大地、地層」を表し、「ツノ」は山陰海岸ジオパークのロゴマークと同じ配色となっています。今年度中に完成するジオンくんとの着ぐるみが、「かすみちゃん」、「松葉くん」、「但馬牛太郎」とともにジオパークのPR、普及推進に活躍します。

宮川さんは「私の地元『下仁田ジオパーク』（日本ジオパークの一つ）との関わりもあり、とてもうれしい」とのコメントを寄せてくれました。



日本の文化に興味津々！

雪国ホームステイ（12月15〜18日、小代区内）

国際交流を深めようと、昭和56年からオーストラリアの留学生が小代区の一一般家庭にホームステイを行っています。

昨年12月15日から18日までの3泊4日で、7人の短期留学生が小代区内の各受入家庭を訪れ、家族の一員として過ごしました。16日には、小代中学校で英語や習字の授業に参加、給食を一緒に食べて中学生と交流しました。また、18日には小代保健センターで行われた「ふれあい収穫祭・正月のもち花づくり」に参加。地域の子どもたちと一緒にもち花づくりなどを行い、交流を深めました。

雪が降り積もるなか、家庭での生活やさまざまな体験を通して日本の文化に触れた留学生。送別会で「雪が見ることができてうれしかった。みんなに親切にしてもらってうれしかった。この土地で過ごした日々を一生忘れない」と慣れない日本語であいさつ。ホームステイ先の家族も「息子や娘と別れるようでとてもさみしい」などと語り、別れを惜しんでいました。



▲慣れない筆を使って、習字に挑戦



美方大納言小豆を堪能！

美方大納言小豆まつり

（12月11日、道の駅村岡ファームガーデン）

美方大納言小豆をPRしようと、昨年12月11日に香美町と新温泉町の特設会場で「美方大納言小豆まつり」が行われました。

この祭りは、美方大納言小豆を地域ブランドとして育てようと、昨年7月に設立された美方



## 白銀の世界を楽しみながら初滑り！

ハチ北高原スキー場がオープン（12月17日）

町内スキー場のトップを切って、ハチ北高原スキー場（村岡区大笹）が昨年12月17日、オープンしました。

この日は、人口造雪機を使って整備した全長700m、幅20mの中央グレンデコースと子ども向けのオレンジラクラナの2コースをオープンする予定でしたが、前日までの約50cmの積雪で、天然雪のファミリーグレンデコースも滑走可能に。時折強い風や降雪に見舞われましたが、初滑りを待ち焦がれた多くのスキーヤーやスノーボーダーが、雪の感触を確かめながら白銀の世界に飛び出していました。夫婦でスノーボードを楽しんでいたスノーボード歴7年の野村 充さん（寝屋川市）は「オープンを楽しみにしていました。ここは雪質だけでなく、温泉や料理も最高ですので、今シーズンは宿泊、日帰りを交えて毎週滑りに来ます」と笑顔で語ってくれました。



▲滑る前に自分のラインを確認するスキーヤー

## しめ縄作りで地域の交流を！

しめ縄作り・もちつき大会（12月11日、香住区中央公民館など）

昔ながらのしめ縄作りを通して地域の交流を図ろうと、昨年12月11日に香住地区公民館の呼び掛けで「しめ縄作り・もちつき大会」が香住区中央公民館などで行われました。

昔は草履、しめ縄などは各家庭で作られていましたが、徐々にその姿も見られなくなりしました。そこで、地域を単位として、高齢者から子どもたちに伝統文化を継承していこうと始められたこの行事。併せて、高齢者と子どもたちの交流の場を提供することで、地域のつながりを深めることが狙いです。

作業には約60人の親子が参加し、香住地区老人会の講師5人が指導にあたりました。5班に分かれた子どもたちは、講師の手ほどきを受けながら一生懸命わらわらない、輪かざり作りに挑戦。参加した川戸大地くん（香住小2年、香住区七日市）は「簡単そうに見えたけど、やってみるととても難しかった」と語ってくれました。その後のもちつきにはもち米30kg（12うす分）が用意され、子どもたちは掛け声とともにテンポよくもちをつき、出来上がったもちで仕立てた熱々のぜんざいを口いっぱいほお張っていました。



▲おじいちゃんに教わりながら、しめ縄づくりに挑戦

大納言小豆ブランド推進協議会が主催したもの。同協議会は香美町、新温泉町、県、JAたじま、生産者などで構成され、栽培技術の普及、商品開発、PRなどを通して、特産化を目指しています。

香美町ではこの日、道の駅村岡ファームガーデン（村岡区大笹）で同まつりが行われ、美方大納言小豆を買い求める多くの人で賑わったほか、来場者にぜんざいやおはぎが振る舞われるなど、会場は小豆一色となりました。

会場を沸かせた「棚田からぼたもち早食い大会」には、町内外から8組が出場。これは、口にくわえた長さ30cmのへらでぼたもち5個をすくって相手に食べさせ、その早さを競うもの。器用にへらを使う参加者もいましたが、なかにはすくっては落とすの繰り返しで、相手の口にくわくぼたもちを運べない参加者もいて、会場からは大きな笑いが起きていました。

44秒の大会新記録で見事優勝した永田和三、森田政友ペア（枚方市）は「カニを食べた帰りに立ち寄りました。のどに詰めたらどうしようと思いつきながら必死に頑張りました」と語ってくれました。



▲口にくわえたへらで、ぼたもちを「あーん」

## 役場各課など 主な施設の連絡先

役場本庁舎	36・1111
(代表)	
総務課	36・1111
財政課	36・1942
企画課	36・1962
税務課	36・1113
会計課	36・4321
町民課	36・1110
消費生活相談窓口	36・1941
健康課	36・1114
福祉課	36・1964
農林水産課	36・0846
観光商工課	36・3355
建設課	36・1961
上下水道課	36・0420
議会事務局	36・1963

村岡地域局	94・0321
(代表)	
小代地域局	97・3111
(代表)	
地域振興課	97・3370
健康福祉課	97・3375
農林建設課	97・3373
教育委員会	94・0101
香住分室	36・3764
小代分室	97・3966
公立香住病院	36・1166
公立村岡病院	94・0111
香住地域福祉センター	36・4345
香住老人福祉センター	36・5008
村岡老人福祉センター	98・1000
小代高齢者生活支援センター	97・2202

(全ての施設の市外局番：0796)

## まちのうごき

(平成23年12月1日現在)

合計	20,617人 (-26)
男	9,825人 (-6)
女	10,792人 (-20)
世帯数	6,853世帯 (+1)

カッコ内は前月比



◇問い合わせ先 町教育委員会社会教育課

## 町指定文化財

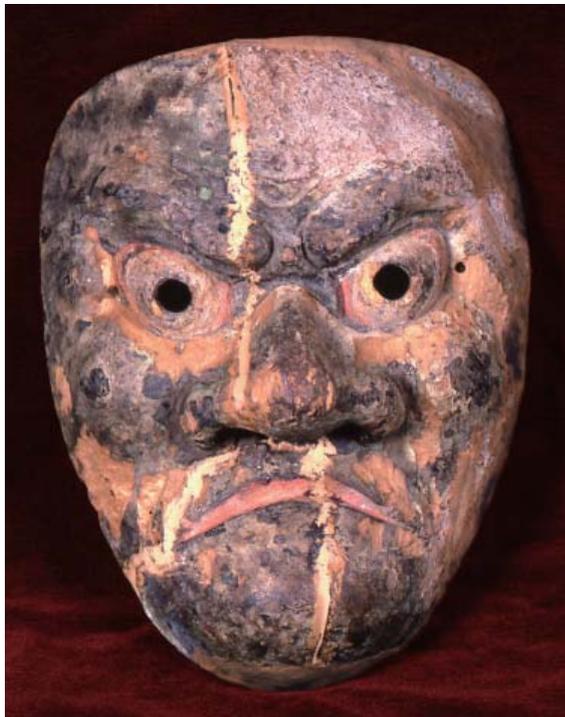
黒野神社所蔵

# 貴徳面

つり上がったまゆ、しわの寄ったみけん、かっ  
と大きく見開いた目、横に広がった巨大な鼻、  
への字に結んだ口。

見るものが思わず襟を正してしまいそんな威厳と  
風格を備えているこの面(写真)は、黒野神社(村  
岡区村岡)に昔から伝わるものです。怒りの表情に  
も見えるこの面からは、憤怒というような激しい感  
情ではなく、内に秘めたる意志で悪を正す、そんな  
静かで強いものを感じます。

この面、正式な名前は忘れ去られてしまい、ただ  
古い面だということから「古面」として神社に伝わっ



ていました。しかし、奈良時代に大陸から伝来し、  
平安時代に宮廷音楽として栄え、寺社でも奉納され  
た雅楽の一つ「貴徳」で使用される面に似ているこ  
とから、いつのころからか「貴徳面」と呼ばれるよ  
うになりました。昭和44年(1969年)刊行の『民  
間の古面』(後藤淑著)には「舞楽(舞を伴った雅楽  
の影響を受けているもの、それに使用されたもの  
ではなく、祭りの行列などで先頭に立ち、先払いや  
悪魔払いに使用されたのでは」と記されています。

面は木製で、その大きさは縦19・8cm、横15・5cm。  
下地に胡粉(貝殻を焼き、砕いて粉末にした白色の  
顔料)は塗らず、直接、緑青(銅の表面にできる緑  
色のさび)が塗られ、その上から黒漆が重ね塗りさ  
れています。大きく見開いた目には朱色の縁取りが  
あり、眼球には金が少し残っていることから、金泥  
(金粉を「にかわ」の液で溶かしたもの)が塗られ  
ていることが分かります。また、唇は朱色に塗られ  
その両端にはしわが彫り込まれています。

額からあごにかけての割れたあとや、額右上の破  
損したあとは、パテ状のもので修復されています。  
面の劣化が少ないわりに破損がひどいため、なんら  
かの理由で故意に割られたのではないかとはいわれ  
ています。また、左側のこめかみの部分には2mm程  
度の穴が開いていて、実際に人が装着したようです。  
形状や彩色などから、鎌倉時代の製作と考えられ  
ているこの面。黒、朱、緑の美しいコントラスト、  
彫りの技術や造形が素晴らしいことから、昭和  
46年(1971年)に村岡町指定文化財に指定され  
ました。

黒野神社には、この面の経歴、そして実際に使用  
された記録は残っていません。また、伝承では同じ  
面がもう1つあり、それは美方郡内にあるともいわ  
れていて、謎の多い面です。